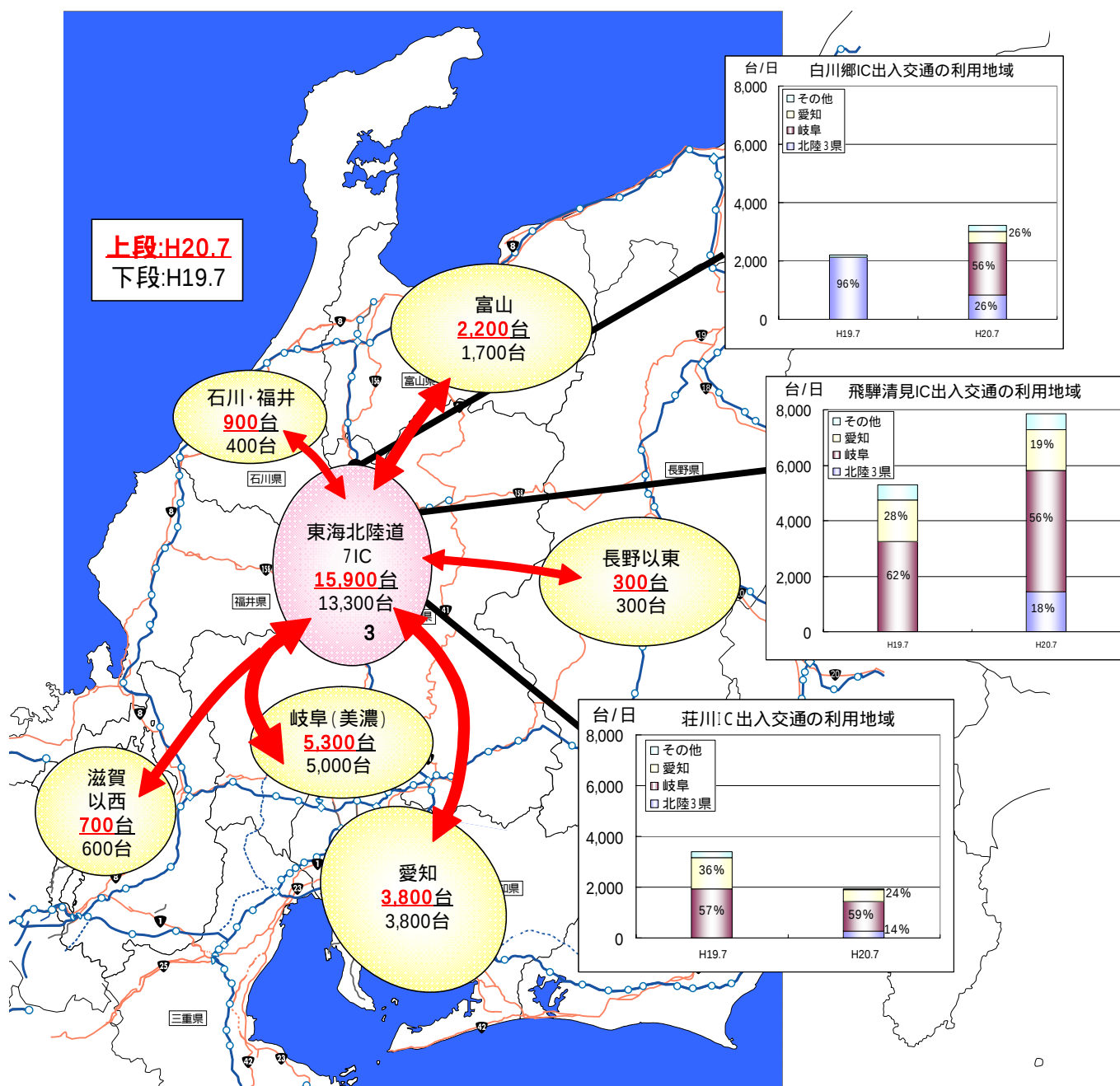


4. 開通後の飛騨地方のICの利用状況

- ・飛騨清見IC～白川郷IC間の開通により、白鳥,高鷲,ひるがの高原SA¹,荘川,飛騨清見,飛騨河合PA¹,白川郷の7つのICと北陸3県(富山県、石川県、福井県)のIC間の利用交通量は約2千台/日から約3千台/日に増加するなど、東海北陸自動車道を使った交流が増加しました²。
- ・飛騨清見ICでは、北陸3県からの利用シェアが約20%になりました。



- 1 7ICのうち、ひるがの高原SAと飛騨清見PAはスマートICとして社会実験中
- 2 飛騨清見IC～白川郷IC 開通前は、平成19年7月8日(日)から8月2日(木)までの日平均交通量を記載
飛騨清見IC～白川郷IC 開通後は、平成20年7月6日(日)から7月31日(木)までの日平均交通量を記載
- 3 7ICと上図の各地域間の利用の他に、7IC内の相互交通の合計も含まれる。